

『あおり創造学 探究セミナー2025（東青地区）』を開催しました

10月3日（金）青森県総合社会教育センターにおいて、一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事 OCC 教育テック大学院大学 教授 妹尾 昌俊 氏をお迎えして、「あおり創造学 探究セミナー2025（東青地区）」を開催しました。本セミナーは、学校や学年を超えた協働学習を通じて、生徒に挑戦する姿勢や主体的に社会へ参画する力を育み、持続可能な青森県を創造できる人財を育成することを目的としており、東青地区の県立高校に参加を呼びかけ、各校から学年にかかわらず全 68 名の生徒が参加しました。本校からは1年生 10 名が参加し、青森県が抱える地域課題を意識した探究的な学習について学びました。

午前には、妹尾氏より「探究って何？なんのため？自分のアタマで考える意味と楽しさ」という演題で、地域課題に注目した探究学習を行う意義や、様々な視点、身近な事例から探究学習の面白さをわかりやすく説明していただきました。他校の生徒とのグループワークの場面では、最初は緊張感もありましたが、活動を通して緊張がほぐれて活発な意見交換が行われていました。

午後には、本校の鎌田教諭を講師に、参加生徒それぞれが行っている課題研究について、「生徒一人ひとりの興味関心を探究テーマへつなぐヒントを得る」「他者の視点や探究活動の進捗に触れ、刺激や気づきを得る」ということを目的としたワークショップを行いました。課題研究のテーマや課題解決に向けた探究的な取組の中にどのような苦労があるのか、グループ内で共有しそれについて話し合うことで、課題研究を行ううえでのヒントを得ることができました。また、グループ内で話し合った内容を文章にまとめ、発表を行うことで、生徒それぞれの意見を共有することができました。

活動後の生徒の振り返りでは、「『現状維持バイアス』という言葉がとても印象に残った。新しいことを始めるためには、過去の延長線上で物事を考えないようにしていこうと思った」「他の学校では医療格差などを探究している学校が多く、自分とは違うことを考えて活動していると知れてよかったです」「他校の生徒の探究活動のことも聞くことができたので、これからの探究活動に活かしていきたいと思った」「課題研究において抱えている悩みや問題についてお互いに話し合い、解決につながるような答えを見つけることができた。これからの探究学習では人とのコミュニケーションを大切にしたいと思った」「チームを組み一つの課題に対して話し合いを深めていくことで、青森県の地域課題など身近な課題が浮き彫りになっていくことを体験できた」「他の人の価値観、どのような悩みを持っているのかを知り、自分だけが悩み疑問があるのではないのだなと改めて知るきっかけになりました。初対面の人と話す機会があまりなかったので、それも良い経験になりました」等の所感が寄せられました。各校それぞれの生徒が取り組んでいる探究学習について考える貴重な機会となりました。

○講演の様子

